

事務事業実績測定調書

10525020008	(仮称)自然環境保全活用事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	(仮称)自然環境保全活用事業用地において、環境保全活動が実施されている状態。				
事業概要	(仮称)自然環境保全活用に係る具体的計画を検討し立案する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	関係団体による活動の実施率。(試験的活動も含む。)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.30	0.25
正職員数	0.20	0.30	0.25
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	2,385	2,004
正職員人件費(換算額)	1,575	2,385	2,004
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	700	65	825
■事務事業の総計(千円)	2,275	2,450	2,829
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,275	2,450	2,829

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	用地境界を明確にするため、雑草により繁茂している用地の除草委託を行う。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	雑草により繁茂している用地の除草を行う等、適切に用地管理を行う。	

事務事業実績測定調書

10525020009	一般廃棄物最終処分場管理業務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	法律に定める処分場の廃止基準を満たし、最終処分場としての管理の終了及び土地の活用の幅が広がる。				
事業概要	枚方市一般廃棄物最終処分場は平成14年4月に埋立が終了しているが、法律で定める廃止基準の適合を確認できるまで、必要とされる分析測定を実施。埋立地周辺地域への影響を定期的に維持管理をしながら、平成26年10月から多目的広場として暫定利用を開始した。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	事故等発生数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.53	0.71	0.49
正職員数	0.53	0.71	0.47
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.02
再任用職員数	0.00	0.00	0.02
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,173	5,645	3,870
正職員人件費(換算額)	4,173	5,645	3,768
非正規職員人件費(計)	0	0	102
再任用職員人件費(換算額)	0	0	102
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	8,438	8,560	9,465
■事務事業の総計(千円)	12,611	14,205	13,335
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	12,611	14,205	13,335

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	2019(R1)年度の分析結果は、浸出水のpH値が高い状況等から廃止基準を満足できなかったが、周辺地下水等の分析結果には異常がなく、周辺への悪影響はないことが確認できた。また、暫定利用についてはさらに3年間の期間延長を実施することとした。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	最終処分場周辺地域への影響を定期的に管理を行うとともに、それに係る経費の低減化に努める。	

事務事業実績測定調書

10525020010	東部清掃工場建設工事関連事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008 (H20) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	都市計画区域の全てを買収できている状態。				
事業概要	1. 未買収用地の境界確定業務を行う。 2. 都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	用地取得率 【算出式: 取得済面積/取得予定面積】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	81	90	96		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.50	1.15	1.15
正職員数	1.50	1.15	1.15
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	11,811	9,144	9,220
正職員人件費(換算額)	11,811	9,144	9,220
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,707	0	0
■事務事業の総計(千円)	13,518	9,144	9,220
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,518	9,144	9,220

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>事業認可の延伸手続きを行い、令和5年度末までの期間延長を行った。大阪府のアドプトフォレスト制度を活用し、東部清掃工場内の緩衝緑地を民間企業2社のCSR活動の場に提供。2019(R1)年8月7日に大阪府庁にて各代表による調印式を行い、5年間の整備協定を締結した。今後も企業の環境保全活動を奨励・支援するとともに、所管用地の森林整備について効率的・効果的な維持管理に努める。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	用地課と連携を図りながら、事業認可期間中の買収に向けて、地権者の理解と協力が得られるよう努める。	

事務事業実績測定調査

10525020011	東部清掃工場見学等環境啓発事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2008 (H20) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂いている状態。				
事業概要	ごみの適正な分別や資源の有効活用に関する啓発活動の一環として、随時、東部清掃工場内を事前予約制により、約2時間の施設見学コースにより、見学を行っている。小学校では、4年生の社会科でゴミ処理等について学んでおり、市内小学校や他市からも小学生を受け入れて見学を行っている。 また、秋季には、「環境フェスタ 氷室ふれあい里の駅」のイベントを実施し、より多くの市民にごみ処理について、理解を深めていく場とする。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	イベントアンケートで減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた割合(実施した場合の目標値) 【算出式:減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた人数/アンケート回収者数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	70	70	70		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.13	1.25	0.91
正職員数	0.96	1.08	0.90
非正規職員数(計)	0.17	0.17	0.01
再任用職員数	0.00	0.00	0.01
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.17	0.17	0.00
■人件費総額(千円)	7,866	8,917	7,266
正職員人件費(換算額)	7,559	8,587	7,215
非正規職員人件費(計)	307	330	51
再任用職員人件費(換算額)	0	0	51
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	307	330	0
■直接経費(千円)	238	270	117
■事務事業の総計(千円)	8,104	9,187	7,383
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,104	9,187	7,383

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	—	
事務事業の実績	来場見学者は年々減少傾向にある。2019(R1)年度実績は見学者数が3609人であった。	
今後の方向性	改善	
具体的な今後の取組方策	小学校の見学が5月6月に集中することから、職員の負担軽減についても検討を進め、業務改善を図る。ホームページ等による環境啓発の推進(DVD貸出の推進)を行い、ウイルス感染拡散防止の観点から見学者による密室状況をなくす方向で検討を進める。	

事務事業実績測定調書

10525020012	東部清掃工場施設維持管理業務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安定したごみ処理施設の運転				
事業概要	<p>・焼却施設【焼却炉 120t/日×2炉 ・ 溶融炉 24t/日×2炉(交互運転)】および破砕処理施設【39t/5h】の各施設において、定期補修工事(年2回 前期・後期)の実施</p> <p>・各種機器・設備(燃焼設備・燃焼ガス冷却設備・排ガス処理設備・余熱利用設備・溶融設備・排水処理設備、破砕処理設備・選別設備・集じん設備、電気設備)等の保守点検及び清掃・警備業務の実施</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	103					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.68	3.99	2.69
正職員数	3.68	3.99	2.48
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.21
再任用職員数	0.00	0.00	0.21
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	28,976	31,724	20,953
正職員人件費(換算額)	28,976	31,724	19,882
非正規職員人件費(計)	0	0	1,071
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,071
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	927,816	978,489	792,881
■事務事業の総計(千円)	956,792	1,010,213	813,834
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	956,792	1,010,213	813,834

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	103.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>東部清掃工場焼却施設は、稼働から11年を越えているため突発的なトラブル発生リスクが高くなっている。2019(R1)年度においては、運転中の機器の故障により2炉とも停止して点検整備を実施しており、計画停止期間も含めると、年間運転時間が少なくなったことから、年間焼却量及び売電量が少なくなった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>毎年の定期補修工事に加え、2019(R1)年度末に改定した「東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画」に基づき、施設の延命化を図っていく。また、粗大ごみ処理施設においては、年2回実施している定期補修工事や随時の補修工事により、施設性能を維持していくとともに、金属類の回収率の向上に向けて取り組む。</p>	

事務事業実績測定調査

10525020013	東部清掃工場施設運営業務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	不適切なごみの搬入防止や、施設の適切な管理で安定したごみ処理を行う。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス等の分析の実施 ・焼却炉120t/日×2炉、溶融炉24t/日×2炉(交互運転)により市域内の焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般廃棄物)約6割を適正に処理し、焼却残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行い余剰電力は売却する。 ・粗大ごみ処理39t/日により市域内の粗大ごみを適正に処理し、処理工程で選別した金属類については、資源化を図る。また、処理工程で発生する不燃残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・溶融飛灰については、金属有価資源の有効利用に努める。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	自主及び法令基準値に対する超過件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.88	3.38	3.11
正職員数	3.88	3.38	2.85
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.26
再任用職員数	0.00	0.00	0.26
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	30,551	26,874	24,173
正職員人件費(換算額)	30,551	26,874	22,848
非正規職員人件費(計)	0	0	1,325
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,325
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	697,186	719,894	744,293
■事務事業の総計(千円)	727,737	746,768	768,466
国庫支出金	0	321	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	25,227	25,202	23,252
一般財源	702,510	721,245	745,214

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	・年6回(有害物質年2回)の排ガス分析を実施、分析結果については全ての項目について自主管理基準であった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	適正に設備機器等の維持管理を実施することで、環境への負荷の低減に向けた運転を目指していく。	

事務事業実績測定調書

10525020014	氷室地域都市基盤整備事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1999(H11)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している状態。				
事業概要	氷室地域の各自治会の要望(支援要請)の窓口として地元並びに庁内関係課と協議調整を行うとともに、氷室地域の都市基盤整備の充実のため支援を行っている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	地元支援要請対応の引継率 【算出式: 担当部局への引継数 / 地元支援要請資料作成数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.60	1.65	1.30
正職員数	1.60	1.65	1.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	12,598	13,119	10,422
正職員人件費(換算額)	12,598	13,119	10,422
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	93	0	0
■事務事業の総計(千円)	12,691	13,119	10,422
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	12,691	13,119	10,422

4. 実績測定

	実績／目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	氷室地域の地元要望に対して窓口となり、様々な要望について、大阪府並びに地元と庁内関係課との協議調整等、解決に向けて連携して取り組んだ。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	氷室地域の地元要望に対して、地元自治会及び庁内関係課と協議を行いながら都市基盤整備の充実を目指す。	

事務事業実績測定調書

10525020023	東部清掃工場焼却施設長寿命化に係る整備事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		~		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	既存の焼却施設の延命化を図る				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・灰溶融炉の停止(廃止)工事 ・基幹的設備改良工事 ・延命化工事 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	長寿命化総合計画に係る各年度の計画進捗率 【算出式:各年度の出来高/各年度の計画事業費】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	1.00
正職員数	0.00	0.00	0.80
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.20
再任用職員数	0.00	0.00	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	7,434
正職員人件費(換算額)	0	0	6,414
非正規職員人件費(計)	0	0	1,020
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	8,580
■事務事業の総計(千円)	0	0	16,014
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	16,014

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	「東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画」を改定した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	東部清掃工場の焼却施設について、長期にわたって安全で安定的なごみ処理を行うため、「東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画」と整合を図りながら、必要な延命化工事を実施する。延命化工事については、財政負担の軽減・平準化と環境負荷の低減を踏まえ、R3～7年度の5年間に第1期工事としてR3に灰溶融炉の停止(廃止)工事に着手し、順次基幹的設備改良工事を実施。また、R13～17年度の5年間で第2期工事を計画している。	

事務事業実績測定調書

10999990051	東部清掃工場運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000200	環境部東部清掃工場
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に執行する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東部清掃工場の予算、決算事務 ・文書の收受、整理事務 ・その他庶務関連事務 				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績						

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.70	3.74	3.10
正職員数	3.70	3.74	2.80
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.30
再任用職員数	0.00	0.00	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	29,134	29,737	23,977
正職員人件費(換算額)	29,134	29,737	22,448
非正規職員人件費(計)	0	0	1,529
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	618	589	369
■事務事業の総計(千円)	29,752	30,326	24,346
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	29,752	30,326	24,346

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	室及び課内における予算・決算、文書收受、整理並びに室及び課内におけるその他庶務関連事務について、適正かつ迅速に処理できた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、室及び課の運営について、適正かつ迅速な処理を行い、事務の円滑な執行を行う。	